

学校の統合で空き家になった中学校。PTA有志がここを子どもと地域の人たちが集い、学びあう場所にしようと立ち上がりました。木工教室、星空観察会の開催や空き家調査、JR福部駅前トイレの掃除など、多彩な活動をする「福部となりのがっこう」の活動を取材しました。



制作したペーパーナイフと完成直後の子どもたちの手

PTA有志で「がっこう」をつくる

～福部となりのがっこう（鳥取市）～

学校のとなりのがっこう

鳥取市福部町では、それまで別々だった幼稚園・小学校・中学校がまとまって、平成28(2016)年「福部未来学園」(併設・分離型幼小中一貫校)が開校しました。そして2年後に、施設一体型幼小中一貫校になりました。校舎はもとの小学校の場所に統合され、中学校だった校舎は空き家になりました。

「これはもったいない」10人ほどのPTA有志が集まって話し合いました。その結果、旧中学校校舎に、地域の子どもや大人が集い、教えあい、学びあう社会教育の施設を作ることが決まりました。学校のとなりに、もうひとつのがっこうを。令和元(2019)年8月1日、「福部となりのがっこう」の開校です。



向こうに見える白い建物が「福部となりのがっこう」

PTAを「卒業」した大人のつながりを

子どもが小中学校に通っている間は、PTA活動で保護者同士つながって、子どものために活動することができます。でも子どもが中学校を卒業すると、保護者が活動から離れてしまう。

現役世代が継続して活動に取り組めるようにしたい。だったらPTA活動を「卒業」した有志がつながって、地域の子どものために活動すればいい。「福部となりのがっこう」は、旧校舎の活用だけでなく大人の地域活動の場所でもあります。

木工教室と星空観察会に思いを込めて

「福部となりの学校」のメイン行事は「木工教室」です。子どもたちは頭の中でイメージしたものをまず絵に表し、次に設計図を描き、段ボールで試作し、最後に木で製作します。試行錯誤しながら思い思いのものをつくる。苦勞して完成させたおもちゃで遊ぶときのうれしさは格別です。

作るだけではありません。材料の梨の木は廃園になる梨園からもらいます。作業を手伝い、切りくずを畑にまく。枝や幹は薪ストーブで暖を取り、灰は畑に戻して土を肥やします。代表の林貴之はやしたかゆきさんはこう語ります。「梨の木をめぐる循環に身を置くことで、自然を身体で『感じる力』、木工で苦勞しておもちゃを完成させることで、環境が変化する中で将来を『切り開く力』を育みたいと思っています」

秋は「星空観察会」を開催します。学校の屋上でみんなが大の字になって流れ星を観察します。ふだんなら寝る時間もその日は友だちと過ごせる素敵な時間になるように。そして、星空を眺めることで「人間は自然の一部」なんだと感じてもらいたいとの思いを込めています。



切りくずを畑にまいて土を肥やす



木工教室で使う下絵や工具、作品が並ぶ

木工教室は地元「梨の木工房」の協力から

福部町海士の藪田道男あもう やぶたみちおさんは「梨の木工房」を開いています。おもちゃやコースター、ペーパーナイフなどを梨の木の廃材を使って制作します。製品は鳥取砂丘砂の美術館売店などで販売中。

木工教室は、藪田さんの協力で始まりました。参加者の中には小学校4年生の時口クロを使って一体彫りのコマを作り、中学校3年生の今、宮大工をめざす子がいます。

「私は子どもの頃に経験したことを何十年も後に思い出します。木工をとおして地域の子どものほめたり、叱ったりする。それがいつかその子に役立てばいいなあと願っています」と藪田さん。



一体彫りのコマ（「梨の木工房」藪田道男さん提供）



梨の木工房

〒689-0106 鳥取市福部町海士564-10
携帯電話 / 090-3177-4150
F A X / 0857-75-2271



活動資金は空き家調査とトイレ掃除から

「空き家調査」

「となりのがっこうの活動資金が必要だろう。」はじめ頃の総合支所長さんから「おためし住宅」の管理をしてくれたら、謝礼を出すという提案が来ました。お試し住宅は短期間で終わりましたが、今度は「空き家調査」の依頼が来ました。各地区に出かけて、目視で調査します。集めた情報は総合支所に伝えます。町内の団地から引っ越した例があり、手応えを感じています。

「福部駅前トイレの掃除」

これも総合支所からの提案が始まりです。福部駅前トイレ掃除は業者に委託していましたが、掃除は月2回だけで、あまりキレイではありませんでした。

今、毎週日曜日の朝8時に集まってトイレ掃除をしています。トイレトーパーは予備を補充し、芳香剤を必ず置く。高校生の保護者から、「以前は木や草が伸び放題で怖かったけど、今はトイレも周りもキレイだから安心

して使えると子どもから聞きました」とうれしい声が届きます。



外壁にレトロな少女像 JR 福部駅舎

無人駅のJR福部駅。その小さな駅舎の外壁には、初夏のラッキョウ畑近くのベンチに少女が腰掛けている絵。福部町は「砂丘ラッキョウ」の産地。そして描いたのは、福部町出身の伊吹春香さん。レトロな少女像で人気です。



JR 福部駅舎

一緒にトイレを掃除しよう

毎週日曜日、朝8時からJR福部駅のトイレ掃除をしています。一緒にトイレ掃除をしてくれる方を募集しています。



毎週日曜日の朝掃除する JR 福部駅前トイレ

子どもや大人が集まる場所に

「今、学校では子どもたちが放課後に残って過ごすことができません。公民館での習い事の時間まで過ごす場所がない。できれば高校生をアルバイトに雇って、月に1~2回でも開けて、子どもたちの集まる場所にしたいです。サードスペースとしても使ってほしい。平時のつながりができれば、災害時にもきっと役立つと思います」と事務局長の中川玄洋さん。

そして子どもだけでなく、PTAを卒業した保護者や大人が集まる場所、福部の未来をつくるもうひとつのがっこうにしていきたいと構想を語ります。

問合せ先

福部となりのがっこう

事務局長 中川 玄洋さん
携帯電話 / 090-4850-9560
E-mail / genyo@bankup.jp



代表 林 貴之さん



事務局長 中川玄洋さん